

## 第50期第5回常任幹事会 報告

日時 2020年10月29日(木)13:30~

会場 東京労働会館5階会議室

出欠：吉田、白滝、石村、芝宮、椎橋、西川、寺川、窪田、阿久津、西坂、相川、小形、深沢(今井)、細見、加藤、杉山、國米、田村、市橋、木崎、酒井、加藤、坂本、名越、菅谷、吉野、岡本、森松、前沢(高橋) 17/29(下線欠席) 議長：窪田次長

東京では新型コロナの新規感染が止まらない中、社保協としても感染予防のためリモートでの参加も呼びかけて、会議時間も短縮して常任幹事会を開催します。

東商連は任務変更で佐藤さんから木崎さんに変更になります。

13:30~14:30 第5回常任幹事会 (名前を で困ってあるのはリモート参加)

### 1、報告

会長あいさつ後、以下の報告を受け、討議を経て確認しました。

#### 1、活動報告

##### 9月

24日(木)18:30~ 東京の医療をまもる共同行動へ、関係団体の懇談会

##### 10月

2日(金)10:00~ 2020都民生活要求大行動第2回実行委員会

5日(月)10:00~ 25条共同行動実行委員会「意見交換会」

7日(水)13:30~ 中央社保協第1回運営委員会

12日(月)14:00~ 社会保障誌編集委員会

14日(水)10:00~ 介護をよくする東京の会事務局会議

12:00~ 「4の日宣伝」巣鴨駅前

15日(木)13:30~ 中央社保協関東甲ブロック事務局長会議

16日(金)13:30~ 都民連第1回世話人会議

21日(水)10:00~ 消費税廃止東京各界連事務局会議

22日(木)13:00~ いのちまもる10.22総行動(リモート)

13:30~ 新生存権裁判東京第7回口頭弁論報告集会

26日(月)12:00~ 第203臨時国会開会日行動

27日(火)18:00~ 中央社保協第2回代表委員会

29日(木)13:30~ 東京社保協第5回常任幹事会

## 2、中央社保協、地域社保協の取り組み

### ( 1 ) 中央社保協

第1回運営委員会 資料：2～17  
日時 10月7日(水)13：30～16：00  
会場 日本医療労働会館とリモート

### ( 2 ) 加盟団体・友誼団体の総会・学習会など

9月27日(日)10：00～ 東商連第74回大会...メッセージ  
9月27日(日)13：00～ 東京地評第19回大会...メッセージ  
10月16日(金)19：00～ 小金井社保協総会...窪田  
10月22日(木) 新医協東京支部第59回総会...メッセージ

### ( 3 ) 共闘団体報告

#### ( 1 ) 介護をよくする東京の会

事務局会議 10月14日(水)10：00～11：45 資料：18～47  
協議内容

- ・省令による総合事業の動向と課題、パブコメ、第8期介護保険事業計画策定にむけた動向(スケジュール、基本指針、都高齢者保健福祉計画)第8期に向けた要求・提言、報酬改定にむけた運動(大阪社保協)の情報を共有。
- ・中央社保協で「介護保険制度の抜本的改革提言(仮)Ver1」案についての意見を10/27までに寄せて欲しい。11月初旬の会議を経て成案となる。
- ・第8期介護事業(支援)計画に向けての取り組みとして、都及び各自治体の情報収集を随時行う。また、都や各自治体のパブコメに対してのひな型となる様な項目を提示する。都高齢者保健福祉計画は1月末位からパブコメ。
- ・学習会などの企画については、方向性として「介護を巡って現場がどうなっているか?認知症と家族の会の方をはじめ、介護家族を抱えている人の困難や苦労話など利用者の立場から、事業に携わっている従事者などの立場から複数の現場の方に語ってもらう様な企画」とする。コロナで開催時期については引き続き検討する。
- ・10月25日(日)13～16時。「介護全国学習交流集会」に参加する。
- ・10月30日(金)都民生活要求大行動実行委員会での対都重点項目要請介護分野の要請は医労連と相川さんで調整。15分間。
- ・11月7日(土)14～16時 コロナ禍後の日本の課題 講師：西谷修(東京外語大名誉教授)

守ろう!介護保険制度・市民の会、医療・介護・福祉の会、中央社保協で共催。  
関連団体との連携を深める取り組みとして参加する

- ・11月11日「介護・認知症なんでも無料電話相談会」実施。各団体での宣伝と相談員組織を強める。相談員は民医連と自治労連では要請済。

11/14(土)12～13時 巣鴨駅前、「介護宣伝」(「4の日」宣伝と一緒に)

次回事務局会議 11月18日(水)10:00~自治労連会議室(定例1週間延期)

(2) 消費税廃止東京各界連絡会

事務局団体会議 10月21日(水)10:00~11:00 資料:48

10月26日(月)17:00~18:00 池袋駅東口大宣伝行動

9団体 30人、署名24筆、署名用紙入りティッシュ約300個配布

次回は 11月16日(月)12:00~12:45 大塚駅南口

・10/30消費税減税を求める学習会

衆議院第一議員会館 多目的ホールとWEB。

講師:山家悠紀夫、湖東京至さん

・消費税意見動画をYouTubeで配信:<https://youtu.be/oAJ5FKyY2k>

・上半期の企業倒産件数は3858件と過去30年で最小(コロナ関連企業倒産600件(2~9月))、コロナによる公的資金が資金繰りを支えた(商工リサーチ)。飲食店倒産が392件と上半期で最多(帝国データバンク)。

・事業主と直接仕事を取引する労働者(雇用類似就業者)が拡大。ネット普及によるクラウドワーカー、ウーバー配達員など

当面の活動

・ポスター、のぼり、ティッシュは必要部数をおろすので相談を。

・12月をめどに都議会請願「消費税引き下げを求める」

次回事務局団体会議 11月16日(月)13:45~地評会議室

(3) 生存権裁判を支える東京連絡会

裁判期日

第8回 12月2日(水)11:30~

第9回 3月16日(火)11:30~

12月は弁論準備として原則傍聴なしですが、弁護団の要請で裁判所も譲歩し、原告、弁護団、傍聴支援者の合計22人ですので、傍聴支援者は4~5人です。

報告集会を弁論準備終了後に開催します。

裁判所に対する要請署名の強化

名古屋地裁が6月25日に不当判決を出したことから、改めて裁判所への要請を強めます。各守る会の単組、連絡会の団体、個人署名を引き続き集約します。新しい署名についても準備します。

今後の日程

年度内に結審または判決が予想されるのが、大阪地裁、札幌地裁、福岡地裁、東京地裁(はっさく裁判)の4つの裁判でこの判決が新生存権裁判東京の判決に影響を及ぼすと考えられる。そのため、3月の公判までの運動構築が重要なので11月に打ち合わせして取り組みの提案を具体化します。

次回第5回幹事会 日程未定

(4) 都民連第1回世話人会

世話人会 10月16日(金)13:30~ 資料: 49~54

都議会第4回定例会開会日行動

開会日 11月30日(月) 予定

代表質問 12月8日(火) 予定

一般質問 12月9日(水) 予定

閉会日 12月16日(水)

開会日行動 11月30日(月)12:15~12:45

今回から参加規模250人を目指します。

次回世話人会 12月18日(金)13:00~ 東京労働会館5階地評会議室

(5) 都民生活要求大行動実行委員会

第2回実行委員会 10月2日(金)10:00~

対都要請行動 10月30日(金)9:30~

(6) 【会議がないため再掲】東京高齢期運動連絡会

第2回常幹 9月14日(月)14:00~16:30

各参加団体の活動交流

- ・コロナ禍の中で、特に高齢者は集まる事自体が困難。そうした中で、つながりを保ち、活動を続け、組織拡大するか

取り組み

- ・8/12 コロナ問題で緊急対都要請(別紙)を7名参加で行った。
- ・自治体アンケートと全都共同行動については、要請書のひな型を作り、地域で取り組めないところは事務局が援助する。10月に対都要請の予定。12/3、14時~ 豊島区東部区民事務所にて「23区中間交流集会」を予定。
- ・「高齢者の人権宣」の学習・討論について  
10/1に学習討論集会を開催(要請書、チラシ参照)。東京から100名参加をめざし、各団体からも代表参加をお願いしたい。その後東京としての推進体制を確立する。  
パンフレット100円/部の普及。東京で千部。ブックレット500円/部の普及をする。
- ・日本高齢者大会について今年中止。東京高齢者大会も中止の方向。
- ・後期高齢者医療制度一部負担金原則2割反対署名は到達44万。80万筆 目標に向けて引き続き取り組む。広域連合や都議会へ要請。各自治体での意見書採択をめざす。
- ・省令改定だけで要介護者へ対象拡大する「介護予防・日常生活支援総合事業」へのパブコメを東京高連として提出する。各団体でも取り組んで欲しい。
- ・コロナ禍で必要性を感じたので、介護・医療・公衆衛生などについて学習をしたい。

次回常幹 11月16日(月)14:00~ 東部区民事務所

### 3、会計報告

省略

## 2、協議事項

以下の課題について提案を受け、補足も受けながら承認しました。

### 1、情勢の特徴

#### (1) 「#いのちをまもる 医療・社会保障を立て直せ！ 10・22 総行動」

新型コロナウイルス感染症の収束見通しが立たない今こそ社会保障費削減政策から医療・福祉の充実へ転換を求めていこうと、「#いのちをまもる 医療・社会保障を立て直せ！ 10・22総行動」が10月22日、日比谷野外音楽堂（東京都千代田区）で開かれ中央集会参加329人 全国500か所以上で視聴・行動しました。東京では全国集会に先がけて11時から日比谷野音で集会、東京労働会館会議室をはじめ各団体が事務所などで視聴しました。

#### (2) 第203臨時国会が開会

10月26日第203臨時国会が召集されました。衆院第2議員会館前には400が集まり、菅義偉政権を一日も早く退陣に追い込もうとアピールしました。

主催者あいさつした憲法共同センターの岸本啓介さん（全日本民医連事務局長）は「いのちと暮らしを大事にする政権へと変えていきたい」と語り、市民と野党の共同の力をさらに広げて実現していこうとのべました。

立憲民主党の近藤昭一衆院議員、日本共産党の田村智子参院議員、社民党の福島瑞穂参院議員、参院会派「沖縄の風」の伊波洋一参院議員があいさつしました。

「憲法問題対策法律家6団体連絡会」事務局長で弁護士の大江京子さんは、日本学術会議への人事介入は、「すべての市民に向けられた刃（やいば）です。憲法にもとづいた、個人や人権が尊重される政治を求めます」と述べました。

初めての所信表明演説を行った菅義偉首相。コロナ禍のなかでの国民の苦難をよそに、「自助、共助、公助」と強調する一方、日本学術会議の会員任命拒否など国民に説明すべき問題には一切触れない強権ぶりを際立たせました。

「自分でできることは、まず、自分でやってみる」。菅首相が、目指す社会像として「自助・共助・公助」と語ったことに、野党議員から「自己責任内閣！」とやじが飛びました。国民への説明は果たさず新型コロナ禍で苦しむ国民に「自己責任」を迫る発言は、政治の責任を放棄するものに他なりません。

経営危機にある医療現場への減収補てんは一言も触れず、公立・公的病院の統廃合、病床削減をすすめる「地域医療構想」の中止も言及しませんでした。休・廃業を検討する中小企業が31万社に上り、非正規雇用者数はコロナ前に比べ100万人超急減しています。政

府の経済支援制度の多くは12月までに切れるもと、直接支援の継続と強化、消費税5%への減税と納入免除など、必要な支援を届けきることが必要です。

### (3) 世界の子ども6人に1人が「極度の貧困」

国連児童基金(ユニセフ)と世界銀行グループ(国際復興開発銀行 I B R D など5機関)は10月20日、子どもの貧困に関する最新の分析を公表し、世界で推定3億5600万人、6人に1人の子どもが「極度の貧困」(1日1.90米ドル=約200円=未満で生活)におかれていると明らかにしました。これは新型コロナウイルス感染症のパンデミック(世界的流行)以前の状況であり、パンデミックでさらに悪化する恐れがあると警告しています。

子どもの貧困がより顕著なのは、不安定な国や紛争の影響を受ける国です。これらの国では、40%以上の子どもが極度の貧困にあります。

また、新型コロナの危機で、大部分の国々が現金給付を拡大していますが、その多くは短期的で、規模でも長期にわたる復興に対応するためにも十分ではありません。

ユニセフのウィジェセケラ・プログラム局長は、パンデミックによる経済的苦難が事態をさらに悪化させるとして、「子どものための改善計画が早急に必要だ」と各国政府に求めています。

## 2、当面の重点課題

(1)「お金の心配なく、国の責任で、安心して暮らせる社会に 社会保障制度の拡充を求める請願」署名は引き続き取り組みます。

3月以降7月までの「4の日宣伝」は新型コロナウイルス感染の広がりのため、中止しました。10月14日は、東京21人(土建15、地評2、年金者組合1、事務局3)、中央3人(社保協1、保団連1、全商連1)の合計24人が参加し、署名25筆、ティッシュ2千個を配布しました。

東京社保協・中央社保協の共同での「4の日宣伝」は、2017年2月からスタートし、2020年10月まで35回、延べ1,253人、2,869筆の署名、80件の介護相談・年金相談、約152,700個のハガキ付ティッシュを配布しています。

1)「お金の心配なく、国の責任で、安心して暮らせる社会に 社会保障制度の拡充を求める請願」署名(2020年新署名)の活用を

現在取り組んでいる「2020年新署名」は年内取り組み、来年の通常国会に提出します。

2) 地域社保協・団体の宣伝にプラスターの活用を

宣伝行動を成功させるために新しいプラスター3種類のデータを地域社保協・加盟団体に送付してあります。裏張りをして宣伝行動で活用してください。

3) 以降の「4の日」宣伝予定

J R 巣鴨駅前宣伝(12:00~13:00)

11月14日(土)、12月14日(月)

4) 各地域社保協では独自・共同の宣伝(再掲)

9の日宣伝や消費税宣伝の時に合同で計画してください。

(2) 東京での医療・介護を守るための取り組み

東京の医療・介護を守るために情報交換のために社保協加盟団体で「私たちが求める医療と介護・福祉を実現する東京の実行委員会」を立ち上げてすすめてきましたが、コロナウイルス感染症の拡大、都立・公社病院の独立行政法人化問題など直面している課題として運動に取り組む必要があるとの意見が出され、組織を発展的に改編をしていく事になりました。

この間、関係団体で数回打ち合わせをしてきており、本日の常幹終了後に第1回事務局会議を開催して意思統一します。

名称 人権としての医療・介護東京実行委員会(仮称)

事務局 東京社保協、東京保険医協会、東京民医連、東京地評、東京医労連、都立病院の充実を求める連絡会、東京自治労連、東京土建

事務局団体が8になりますので社保協が調整・連絡を行います。

すすめ方 情報・資料は持ち寄り、議事録は持ち回りで作成します。

宣伝 当面と段階では社保協の行っている毎月の「4の日宣伝」行います。および日程の決まっている関係団体の宣伝行動を予定します。

署名 「いのち署名」と都議会向け都立・公社病院独法化反対署名に取り組みます。

(3) 9条改憲阻止に向けて

市民と野党の共闘を大きくバックアップしてきた、改憲ストップ3000万署名(1010万筆を国会提出)と改憲発議反対緊急署名(26万筆を国会提出)は、安倍晋三氏の首相辞任後も粘り強く進められています。東京社保協は社保宣伝時に、社保署名とあわせて実施し、この運動を成功させるために貢献してきました。

3000万署名、緊急署名のいずれも、その賛同者は安倍政権・菅政権への批判を意識し、その声を署名に託しています。そうした特徴を念頭においた宣伝、運動の展開が成功のカギとなってきました。コロナ禍のもと、日に日に生活と営業・経営がひっ迫し、感染・健康不安にさいなまれているにもかかわらず、菅首相は「安倍政治」を継承して、改憲と軍拡に前のめりとなっています。これへの批判を憲法署名への賛同という形で寄せてもらうことは、ひきつづき大変重要です。

現在、菅政権に対応した「緊急署名」改訂版に切り替えて、署名運動が進んでいます。この改訂署名は「安倍版」緊急署名と請願内容がまったく同じものであり、接続して取り組まれるものです。「安倍版」署名の到達をさらに前進させて、改憲阻止と国民のいのちと健康、生活を守る政治への転換を実現しましょう。

## (4) 国保改善にむけて

### 1) 国保運営方針改定案についての意見について

11月中に寄せられた意見(パブリックコメント)と東京都としての見解をパソコン上で公表するとのことです。

【パソコンでの検索方法】東京都の公式サイト 保健福祉局 「国民健康保険運営方針」と検索

### 2) 自治体国保アンケート

今回10回目になる「自治体国保アンケート」を今年も実施します。

### 3) コロナ感染による国保・傷病手当金を個人事業主も対象にした自治体一覧(傷病見舞金含)

自治体によって条件や規模など異なりますが、参考にして各地域で働きかけを強めましょう。

【2020年10月1日更新：愛媛県宇和島市、滋賀県野洲市を追加】

事業主を「傷病手当金」の対象とした自治体

- ・岐阜県飛騨市 [新型コロナウイルス感染症傷病手当金の創設](#)
- ・鳥取県岩美町 [新型コロナウイルス感染症に関する傷病手当金等の支給について](#)
- ・愛知県東海市 [新型コロナウイルス感染に関する傷病手当金](#)
- ・宮城県松島町 [国民健康保険の被保険者に対する傷病手当金](#)
- ・愛媛県宇和島市 [新型コロナウイルス感染症に係る傷病給付金\(自営業者等の方\)](#)
- ・北海道赤平市 [新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金\(給与受給者\)及び傷病給付金\(個人事業主\)の創設](#)

事業主を「傷病見舞金」等の対象とした自治体

- ・滋賀県甲賀市 [傷病見舞金について](#)
- ・滋賀県野洲市 [新型コロナウイルス感染症にかかる野洲市国民健康保険傷病見舞金\(自営業者などの方\)](#)
- ・埼玉県朝霞市 [国民健康保険傷病見舞金の支給の案内](#)
- ・埼玉県志木市 [新型コロナウイルス感染症に伴う国民健康保険傷病見舞金の支給について](#)
- ・埼玉県和光市 [国民健康保険被保険者に対する傷病見舞金の支給について](#)
- ・埼玉県深谷市 [新型コロナウイルス感染症に伴う国民健康保険傷病見舞金制度について](#)
- ・埼玉県新座市 [国民健康保険被保険者に対する傷病見舞金の支給について](#)
- ・埼玉県上里町 [【新型コロナウイルス感染関連】傷病見舞金支給について\(国民健康保険\)](#)
- ・岩手県陸前高田市 [新型コロナウイルス感染症対策国保事業者傷病給付金](#)
- ・北海道美幌町 [新型コロナウイルス感染症傷病見舞金の実施について](#)



## ( 5 ) マイナンバー普及に反対する取り組みについて

マイナンバーは、現在、全国民に附番されていますが、マイナンバーカードの普及状況は10月1日時点で全国20.5% (26,105,646万枚)・25.5% (3,462,441枚)です。国民の5分の1程度しか普及していない状況です。マイナンバーカードへの危惧と自民党政治に対する不信感が表れています。

しかし、2021年3月から、マイナンバーカードを健康保険証として使用、現行の健康保険証のマイナンバーカードへの置き換えにより、すべての国民にマイナンバーカードを普及させることを狙っています。

マイナンバー反対連絡会議をはじめ、関係団体との共同を、中央社保協とも連携して東京社保協としても働きかけを強めます。

「健康保険証化反対」の運動の展開

社保協加盟の医療関連団体、労働組合との共同を追求

学習の推進 データ配信

適用拡大を認めない取り組み

個人情報保護を法制度の確立と、本人の承諾なしに「プロファイリング(自動処理・決定)されない権利」の確立を求める運動、等に取り組みます。

社会保障給付の削減を目標に、個人情報を名寄せし、プロファイリング強化が狙われており、管理・監視社会への強化に反対します。

マイナンバー反対連絡会議が検討する学習決起集会(12月予定)に結集します。

## ( 6 ) 中央社保協の取り組みに結集します

「全世代型社会保障」の本質は、社会保障に係る保険料や利用料を増額するとともに、給付を抑制し、高齢者や女性等を死ぬまで働かないと必要な医療・介護・福祉・教育等を受けられず、健康で文化的な生活ができない状況に追い込み、一方で、働くことが困難で公的制度から除外されている人たちへの支援を、地域住民の「助け合い」に転嫁することです。これらにより、国の責任を国民の自己責任に丸投げすることで、社会保障費の支出抑制と新たな財源確保、大企業への安価な労働力の提供を同時一体的に実現しようとする施策に他なりません。

「全世代型」への転換は政府・省庁・財界が協力してすすめています。これを阻止するには、私たちが「守るべき社会保障」のあり方を明らかにし、年齢や立場、分野を超えた共同を一層強化する取り組みが必要です。

### 1) 第203臨時国会での定例国会行動

日程 11月4日(水)、18日(水)、12月2日(水)

時間 12:15~13:00

場所 衆議院第2議員会館前

### 2) いのちまもる署名の取り組みについて

資料: 55~56

すでに、各県社保協では、「いのち署名」を重点署名に位置付け、介護署名や後期高齢

署名とともに取り組みを提起しているところも出ています。

署名の連名団体としても、全労連（300万筆目標）医団連、社保協と医療関係団体、労組の幅広い結集が実現しています。

ただし、コロナ禍もあり、地域での街頭宣伝や地域・職場で取り組みにくい状況もあるとの報告もあり工夫が必要です。東京では上記提案のように、「人権としての医療・介護東京実行委員会」として取り組みます。

3) 取り組まれている社会保障関連署名は以下の通り。

いのちを守る署名（第1次署名提出2021年3月4日で調整中）

介護改善署名（2020年11月25日に提出）

後期高齢2割負担化反対署名（10月1日再スタートで2021年2月1日提出）

年金引き下げNO署名（臨時国会に向けての緊急署名 年金者組合）

保育改善署名（より良い保育実行委員会）

生活保護基準引き上げを求める署名（検討中）

障害者天海訴訟支援署名等の支援（団体署名、ネット署名）

国立病院の機能強化を求める署名

4) 第11回地域医療を守る運動全国交流集会

日時 11月23日(月・祝) 10:30~16:00 資料: 57~58

会場 日本医療労働会館、ただしZOOM参加が基本です。

講演 コロナ禍の日本~全世代型社会保障政策を撤回し、安心・安全の地域社会を  
講師: 芝田英昭氏(立教大学コミュニティ福祉学部教授)

参加申込 11月15日までに申込書に必要事項をメールで送ってください。

### 3、要請事項、その他

#### (1) 東京自治問題研究所「11.29シンポ」の紹介

日時 11月29日(日)13:30~ 資料: 59

会場 東京労働会館7階・ラパスホール

参加 オンライン参加可能です。(事前申し込み)

会場代・資料代として1000円

内容 「“都政の構造改革・社会の構造改革” 第2期小池都政について(仮)」  
久保木 匡介(長野大学)

「コロナ禍から、本来の保健所・公衆衛生を展望する」

山本 民子(保健師)

「東京オリンピック・パラリンピック、どんな問題が? どうしたら?」

青沼 裕之(武蔵野美術大学)

「オンライン学習、GIGAスクールが進む学校で子どもたちは」

児玉 洋介(東京総合教育センター)

## ( 2 ) 乳腺外科医師の高裁判決に抗議する医師の会のホームページ ( 参考、紹介 )

ご苦労様です。標記について暫定運用を開始しましたので、参考までにお知らせします。また、ご意見などございましたら、お寄せください。

現在は乳腺外科医のみの氏名掲載になっていますが、今後すべての医師に広げてゆきたいとの事です。その際はまた正式にお知らせ致します。

<https://gekaisien.amebaownd.com/>

## ( 3 ) 加盟団体・友誼団体の学習会、総会あいさつなど

- 11月7日(土)14:00~ こまえ社保協第8回総会...メッセージ
- 11月16日(月)18:30~ 山梨社保協第25回総会...メッセージ
- 11月28日(土)14:00~ 練馬社保協総会・学習会...山口(中央社保協事務局長)
- 11月29日(日)13:00~ 都生連第58回大会...メッセージ

## ( 4 ) 常任幹事会の日程

- 第6回 11月26日(木)13:30~ 東京労働会館5階地評会議室
- 第7回 12月24日(木)13:30~ 東京労働会館5階地評会議室
- 第8回 1月28日(木)13:30~ 東京労働会館5階地評会議室
- 第9回 2月25日(木)13:30~ 東京労働会館5階地評会議室
- 第10回 3月25日(木)13:30~ 東京労働会館5階地評会議室

総会の日程によって第10回は変更になります。

## ( 5 ) 当面の日程

### 10月

- 30日(金)09:30~ 都民生活要求大行動実行委員会対都要請

### 11月

- 4日(水)12:15~ 定例国会行動
- 13:30~ 中央社保協第2回運営委員会
- 7日(土)14:00~ ストップ!介護崩壊「介護学習決起集会」
- 14:00~ こまえ社保協第8回総会
- 11日(水)10:00~ 無料介護・認知症なんでも電話相談
- 13日(金)10:00~ オリパラ都民の会運営委員会
- 14日(土)12:00~ 「4の日宣伝」巣鴨駅前
- 16日(月)13:45~ 消費税廃止東京各界連事務局会議
- 14:00~ 東京高齢期運動連絡会常任幹事会
- 18日(水)10:00~ 介護をよくする東京の会事務局会議
- 12:15~ 定例国会行動
- 23日(月)10:30~ 第11回地域医療を守る運動全国交流集会

20201029第5回常任幹事会

26日(木)13:30~ 東京社保協第6回常任幹事会

28日(土)14:00~ 練馬社保協総会

29日(日)13:30~ 東京自治問題研究所シンポ

30日(月)12:15~ 都議会第4回定例会

12日

2日(水)11:30~ 新生存権裁判東京第8回弁論(準備)

終了後報告会を予定します

12:15~ 定例国会行動

13:30~ 中央社保協第3回運営委員会

24日(木)13:30~ 東京社保協第7回常任幹事会